

2025年度 決定初任給調査

初任給を「引き上げた」企業は72.0%
引き上げ理由の7割が「人材確保のため」
大卒23万9,280円、高卒19万8,173円

人事労務分野の情報機関である産労総合研究所（代表・平盛之）は、このたび「2025年度 決定初任給調査」を実施しました。本調査は1961（昭和36）年から毎年実施しています。

2025年4月入社者の初任給を「引き上げた」企業は、前回2024年度調査比3.6ポイント減の72.0%となりました。これは調査開始以降で2番目に高い水準です。引き上げた理由（複数回答）は「人材を確保するため」が最多で71.1%を占めました。2025年度の決定初任給額（2025年4月時点で確定した初任給）は、大学卒（一律）で23万9,280円（対前年度比5.00%増）、高校卒（一律）で19万8,173円（同5.37%増）となり、いずれも前年を大きく上回りました。

主なポイント

1. 【初任給の引上げ状況】

- ・2025年4月入社者の初任給を「引き上げた」企業は72.0%となり、調査開始以来2番目に高い割合となった（前年75.6%）。「据え置いた」は23.8%、「引き下げた」企業は、前回に引き続きなかった。
- ・引き上げた理由（複数回答）は、「人材を確保するため」が最多の71.1%（前年73.5%）。次いで「在籍者のベースアップがあったため」48.3%（同43.4%）が続いた。人材獲得競争の激化を反映した結果となっている。

2. 【初任給額の水準】

- ・学歴別の初任給額は右表のとおり。
大学卒と高校卒は、一律に初任給を決定している場合と、職種やコース（総合職と一般職、広域勤務と地域限定勤務など）で格差を設けている場合の「最高額」と「最低額」を尋ねた。

学歴	初任給額 （円）	対前年増減率 （％）
大学院卒 博士	264,873	5.32
大学院卒 修士	260,905	5.25
大学卒（一律）	239,280	5.00
大学卒（格差あり）最高額	249,131	4.47
大学卒（格差あり）最低額	222,842	4.18
短大卒・事務	210,478	5.28
高専卒 技術	221,905	5.81
高校卒（一律）	198,173	5.37
高校卒（格差あり）最高額	210,884	3.83
高校卒（格差あり）最低額	191,875	3.08
専修・専門技術学校卒 2年修了	213,950	5.13
専修・専門技術学校卒 3年修了	217,969	5.16

3. 【付帯調査 新入社員の夏季賞与】

- ・新入社員に「何らかの夏季賞与を支給する」企業は81.8%（前年77.5%）で、前年より上昇。支給方法は、「一定額（寸志等）を支給」が最多の67.6%となった。
- ・平均支給額は、大学卒が10万107円、高校卒が7万9,983円。支給額の分布では「5万～10万円未満」が最も多かった。

調査要領 当社会員企業および上場企業から一定の方法で抽出した3,000社に対し、2025年4月に調査票を郵送し回答を依頼。336社の回答を得た。

本件に関する
問い合わせ先 『賃金事情』編集部 担当：原、伊関
〒100-0014 東京都千代田区永田町 1-11-1 三宅坂ビル
■電話 03(5860)9791 ■e-mail:edt-a@sanro.co.jp ■https://www.e-sanro.net

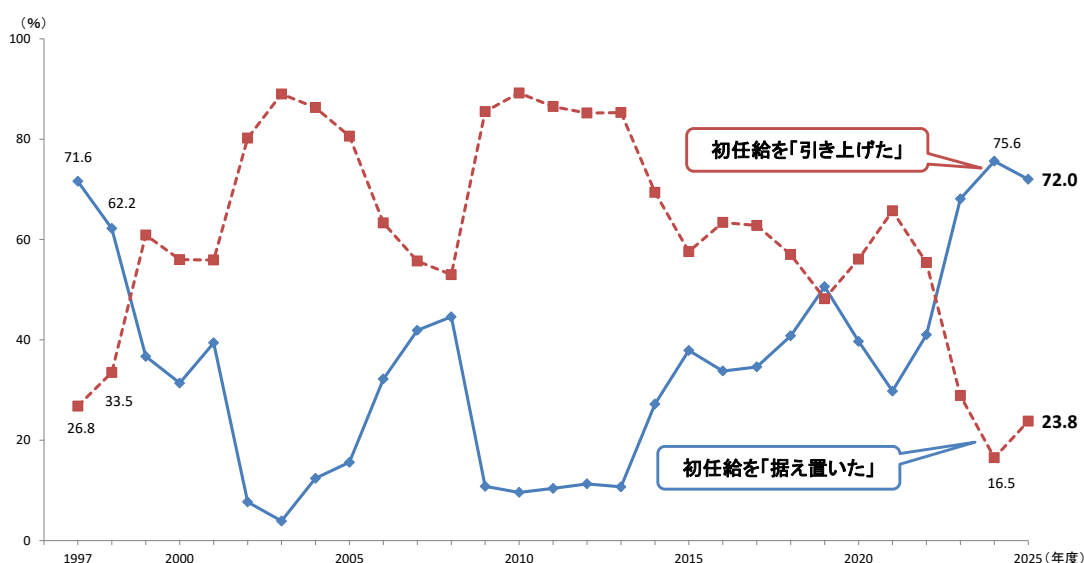
2025年度 決定初任給調査の概要

1 初任給の引上げ状況

(1) 初任給の改定状況

2025年4月入社者の初任給を「引き上げた」企業は72.0%で、前回2024年度調査（75.6%）から3.6ポイント減となったものの、同じ問いを設けた1997年度調査以降で2番目の高水準となっている。区分別にみると、規模別では「1,000人以上」87.5%（前回90.2%）、「300～999人」78.4%（同83.8%）、「299人以下」61.5（同66.0%）、産業別では製造業80.5%（同76.2%）、非製造業67.4%（同71.1%）だった。他方、「据え置いた」企業は23.8%（同16.5%）。昨年に引き続き、「引き上げた」が「据え置いた」を上回った。なお、「引き下げた」企業は3年連続でなかった。

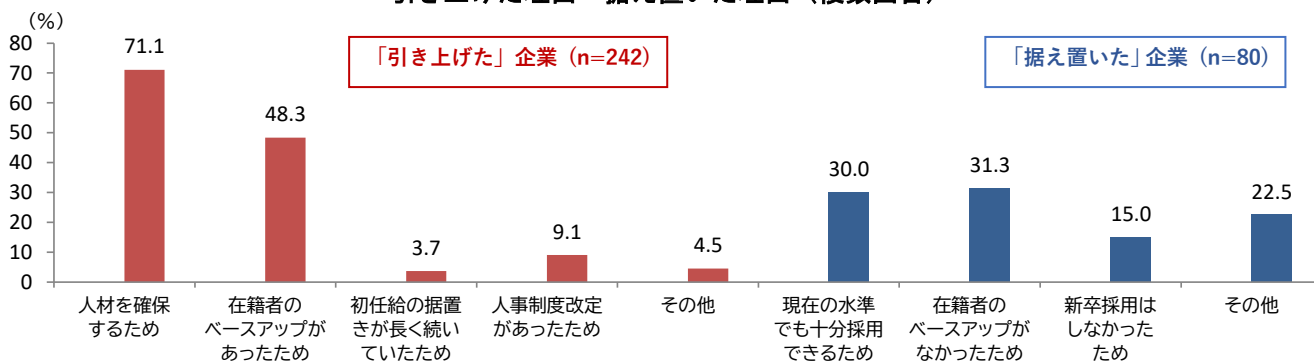
初任給引上げ状況の推移（1997年度以降）



(2) 初任給改定の理由

初任給を引き上げた理由（複数回答）では、「人材を確保するため」が71.1%と最も多く、引き続き採用競争への対応が重視されている。次いで「在籍者のベースアップがあったため」が48.3%となり、既存社員とのバランスを考慮した企業も多い。一方、「据え置いた」理由では、「在籍者のベースアップがなかったため」が31.3%と最多となり、「現在の水準でも十分採用できるため」が30.0%と続いた。新卒を採用しなかった企業の割合も15.0%に上った。

引き上げた理由・据え置いた理由（複数回答）



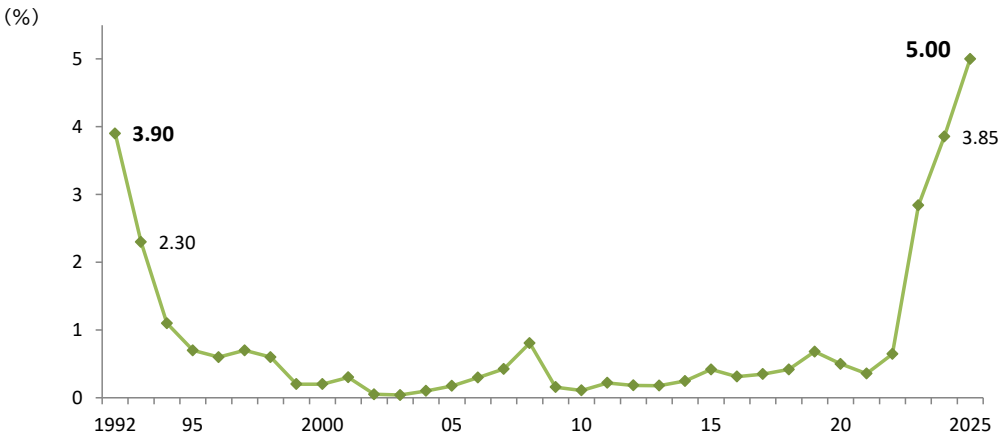
2 初任給額の水準

2025年度決定初任給は、全体的に高い増加率を示し、前年に続いて上昇傾向が継続した。大学卒（一律）の初任給は23万9,280円で、対前年度比5.00%増、高校卒（一律）は19万8,173円で、同5.37%の増加となった。いずれも5%前後の上昇率を記録しており、1992年度以来の高水準となっている。企業規模別に見ると、大学卒は「1,000人以上」が25万9,285円（対前年増減率6.52%）と最も高く、「300～999人」が23万9,624円（同4.63%）、「299人以下」は23万1,657円（同4.63%）で、企業規模が大きいほど増加率・水準ともに高い傾向がみられた。高校卒も「1,000人以上」が20万8,505円（同7.52%）、「300～999人」が20万923円（同5.44%）、「299人以下」が19万450円（同4.08%）となり、全体として引き上げの動きが広がっていることがうかがえる。

2025年度 決定初任給

(単位：円)												
区分	大学院卒		大学卒・事務・技術			短大卒 事 務	高専卒 技 術	高校卒，事務・技術			専修・専門技術学校卒	
	博士	修士	一 律	格差あり				一 律	格差あり		2年修了	3年修了
				最高額	最低額				最高額	最低額		
初 任 給 額	264,873	260,905	239,280	249,131	222,842	210,478	221,905	198,173	210,884	191,875	213,950	217,969
2024年度調査	252,089	247,702	225,457	236,776	213,036	200,625	209,174	188,168	197,309	182,158	202,425	207,015
対前年増減額 (円)	13,395	12,977	11,376	10,608	8,855	10,531	12,124	10,072	7,747	5,679	10,361	10,653
対前年増減率 (%)	5.32	5.25	5.00	4.47	4.18	5.28	5.81	5.37	3.83	3.08	5.13	5.16

大学卒（一律）における初任給額の対前年度増加率の推移（1992 年度以降）



調 査 名	2025 年度 決定初任給調査		
調 査 機 関	産労総合研究所	調 査 時 期	2025 年 4 ～ 5 月

調査要領

調 査 対 象	●集計企業の内訳(別表)							
	(単位:％、()内は社数)							
	規 模		合 計		製 造 業		非製造業	
	合 計		100.0	(336)	35.1	(118)	64.9	(218)
	1,000 人 以 上		100.0	(64)	46.9	(30)	53.1	(34)
	300 ～ 999 人		100.0	(111)	35.1	(39)	64.9	(72)
299 人 以 下		100.0	(161)	30.4	(49)	69.6	(112)	
調 査 方 法	郵送によるアンケート調査方式							
回 答 状 況	締切日までに回答のあった 336 社について集計。集計企業の内訳は別表を参照。							
留 意 点	決定初任給とは、本採用後支払われる所定内賃金月額。通勤手当、時間外手当等は除く。 前年度比は、回答企業における 2024 年度決定初任給との比較。							

2025年度 決定初任給調査の概要

3 新卒入社者の夏季賞与・一時金の支給状況と支給額

本調査では、付帯調査として「新入社員への夏季賞与の支給状況」および「支給額」についても尋ねている。

新卒入社者に対する夏季賞与・一時金の支給状況については、「何らかの夏季賞与を支給する」と回答した企業が81.8%に上り、前年（77.5%）から増加した。一方で「支給しない」は8.0%となった。支給方法は、「一定額（寸志等）を支給」が最も多く67.6%、次いで「在籍期間の日割計算で支給」が19.3%、「日割以外の一定割合で支給」が5.8%と続いた。平均支給額は大学卒が10万107円、高校卒が7万9,983円。支給額の分布を見ると、「5万～10万円未満」が大学卒で41.0%、高校卒で49.6%と最も多く、全体としては前年と同様の傾向がみられた。企業規模別では、大企業の方が支給額・支給率ともに高い傾向が続いている。

新卒入社者の夏季賞与・一時金の支給状況

(単位：%、() 内は社数)

産業・規模	合 計	何らかの 夏季賞与を 支給する	支給方法（支給する=100）						夏季賞与は 支給しない	その他	無回答
			一定額 （寸志等） を支給	在籍期間の 日割計算 で支給	日割以外の 一定割合 で支給	日割＋ 一定割合 または一定額	その他	無回答			
調 査 計	100.0 (336)	81.8	67.6	19.3	5.8	1.5	3.6	2.2	8.0	0.9	9.2
2024年度調査	100.0 (369)	77.5	65.7	18.2	10.5	2.1	1.0	2.4	12.2	1.6	8.7
1,000人以上	100.0 (64)	85.9	69.1	14.5	5.5	3.6	5.5	1.8	9.4	－	4.7
300～999人	100.0 (111)	86.5	75.0	15.6	5.2	－	2.1	2.1	9.9	－	3.6
299人以下	100.0 (161)	77.0	61.3	24.2	6.5	1.6	4.0	2.4	6.2	1.9	14.9
製 造 業	100.0 (118)	89.0	74.3	19.0	2.9	－	2.9	1.0	4.2	0.8	5.9
非製造業	100.0 (218)	78.0	63.5	19.4	7.6	2.4	4.1	2.9	10.1	0.9	11.0

夏季賞与・一時金の支給金額（何らかの夏季賞与・一時金を支給する企業）

(単位：円、() 内は社数)

産業・規模		平均		支給基準別支給金額				
				一定額 (寸志等) を支給	在籍期間の 日割計算 で支給	日割以外の 一定割合 で支給	日割＋ 一定割合また は一定額	その他
【大学卒】								
調 査 計		100,107	(178)	77,577	143,160	144,974	85,000	296,938
2024年度調査		94,112	(179)	79,682	121,030	158,221	50,000	-
1,000 人 以 上		107,354	(37)	90,943	170,645	151,554	85,000	177,500
300 ～ 999 人		102,523	(64)	83,140	145,952	130,158	-	389,500
299 人 以 下		94,617	(77)	65,829	133,200	156,500	-	310,375
製 造 業		96,028	(67)	87,596	147,763	70,000	-	249,000
非 製 造 業		102,569	(111)	70,031	141,265	153,304	85,000	303,786
【高校卒】								
調 査 計		79,983	(123)	68,468	108,498	103,400	75,000	278,367
2024年度調査		75,076	(136)	67,713	101,645	121,708	20,000	-
1,000 人 以 上		87,853	(33)	77,690	134,902	132,301	75,000	-
300 ～ 999 人		85,240	(49)	72,960	99,070	99,000	-	492,000
299 人 以 下		67,367	(41)	55,219	100,323	50,000	-	171,550
製 造 業		78,791	(55)	75,804	113,824	50,000	-	-
非 製 造 業		80,948	(68)	61,278	106,077	121,200	75,000	278,367